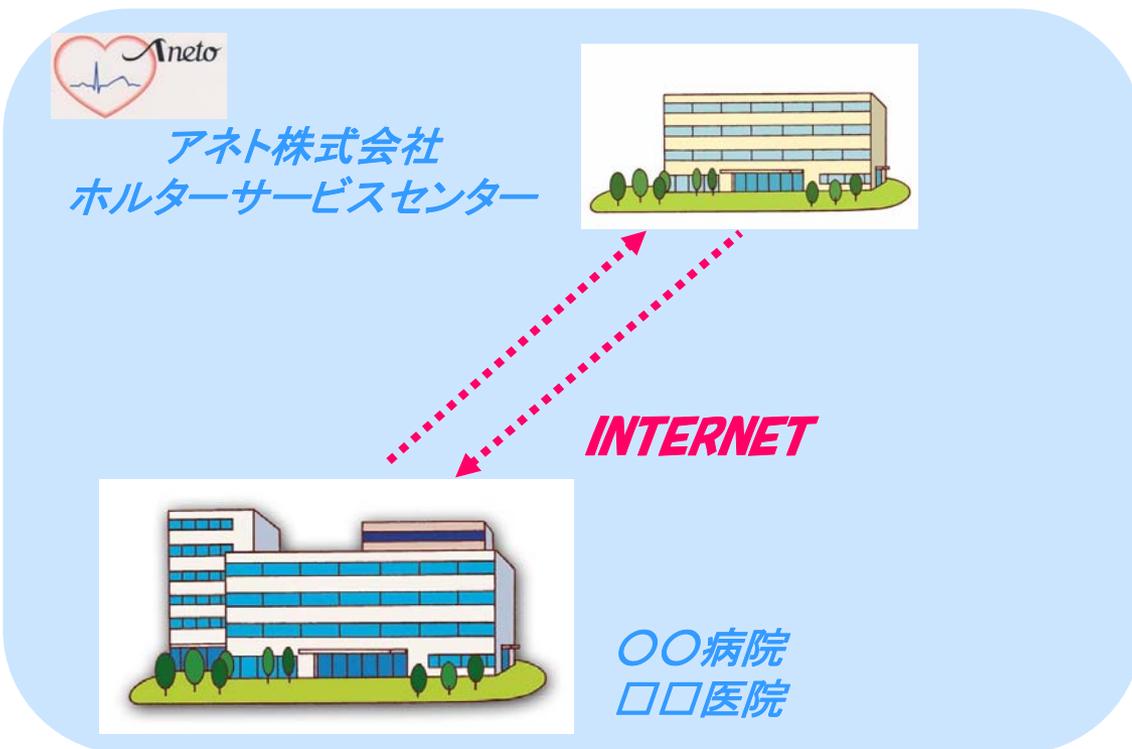


アネトホルター解析ネットワークシステム



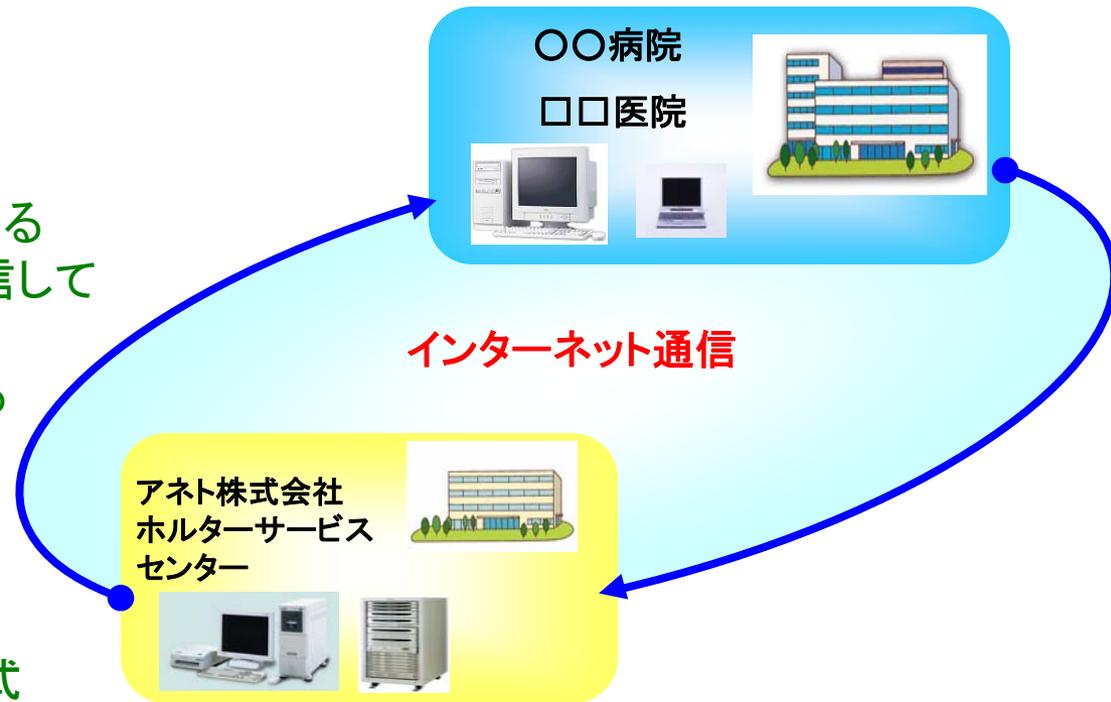
(1) 概要

当社ホルター解析ネットワークシステムは、病院・診療所とホルター心電図解析センターとをインターネットで接続することにより、ホルター心電図データの送受信を行うことができます。

データの送受信は、通信インフラの高速化に伴いスムーズに行うことができ、簡単な操作性を実現しています。

具体的な流れとしては、

- 1) 貴院にあるパソコンからホルター心電図のICカードデータを送信する
- 2) 解析センターで、そのデータを受信してデータの解析等を行う
- 3) 解析結果等のデータの送信をする
- 4) 貴院は解析結果データを受信し、パソコンで確認・印刷する
- 5) PDFに変換したデータを病院ホストPCに入力する
(電子カルテ環境に対応した出力方式に対応できます。ご相談ください。)



したがって、当システムでは、解析結果を得る時間の短縮化などを中心に様々なメリットを追求したシステムとなっています。

(2) 導入施設のメリット

☆ロスタイムの削減

カセットテープやICカードの配送などによるロスタイムを削減。

したがって、患者さんにいち早く診断結果の報告が可能になる。

患者サービスの一環として！

つまりは、



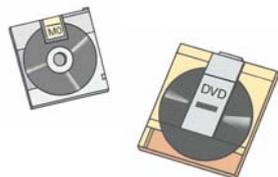
☆経済性

効率化により人件費など必要経費の削減ができる

☆データ保管の省スペース化

解析結果をPCのディスプレイで確認でき、多くのレポートを出力する必要がなくなる。

データの保存は外部記憶装置などに行えるため、データ保管の省スペース化に！



☆インフォームド・コンセント

電子カルテシステムへ簡単入力

解析結果データを、患者さんにディスプレイで見せながら診断報告できるため、インフォームド・コンセントの一環として活用できる！



☆教育

波形の供覧で関係者、患者様の理解を深めることができる

☆安全性

データ配送時の手間が省け、インターネットにより容易にデータ送受信が可能。

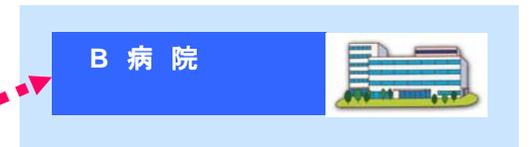
また、万が一にも情報の漏洩、転用などデータを第三者等に見られることのないよう、データの暗号化や2重のユーザー認証などセキュリティに関して万全の対策を施している。



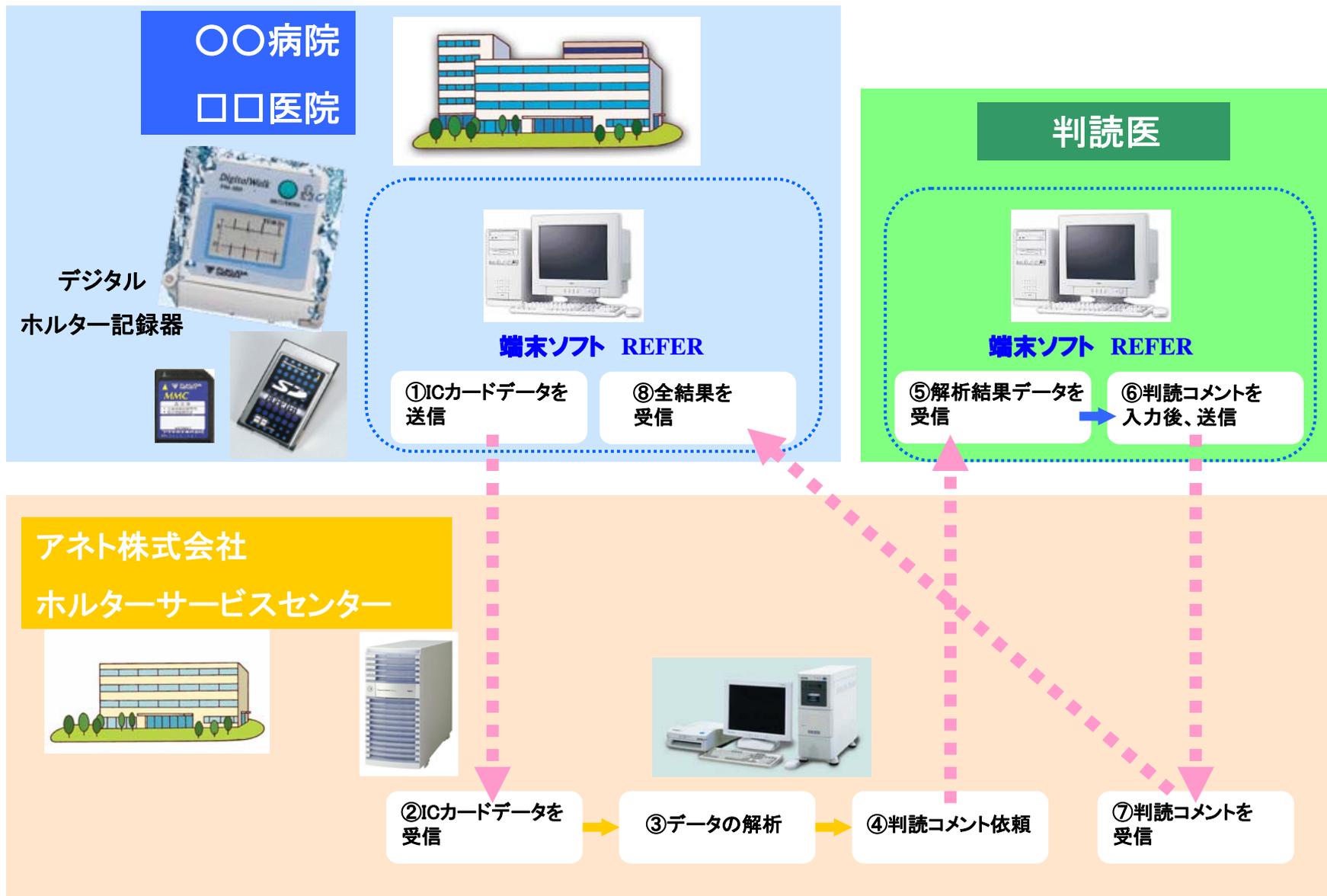
(3) インターネットシステム (概略図)

インターネットシステム

従来、病院など各施設から解析センターへホルター心電図データを配送(集配)していたシステムを、インターネット通信を活用してデータの送受信を迅速に行います。



(4) 処理の流れ



(5) 端末ソフトの紹介

参照端末ソフト *HNS-REFER*



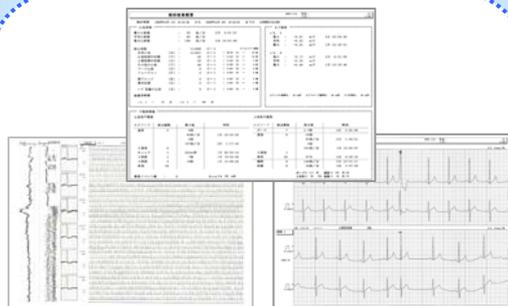
◆ 全波形データを含めた解析結果すべてを確認

- ・受信した解析結果データから24時間の全心電図波形を表示し、確認することが可能。
- ・受信した解析結果や全データはハードディスク内に200件保存でき、外部記憶装置(DVDや外付けHDD)にもファイル形式で保存可能。
- ・市販のプリンタでサマリやフルレポートを印刷できます。
- ・FEV-80と連携して簡易解析結果の送信が可能

病医院・診療所



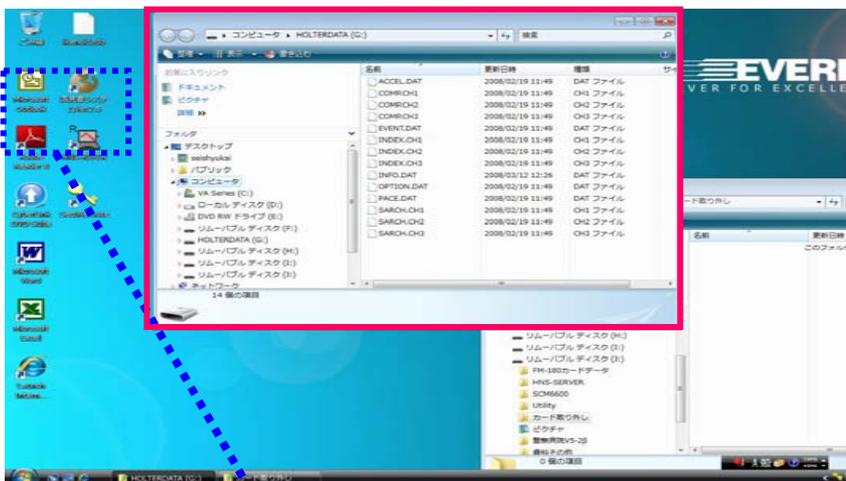
HNS-REFER



解析結果を確認、
印刷、保存できます。

HNS-REFER 操作手順

①カードを差し込み、ソフトを起動する

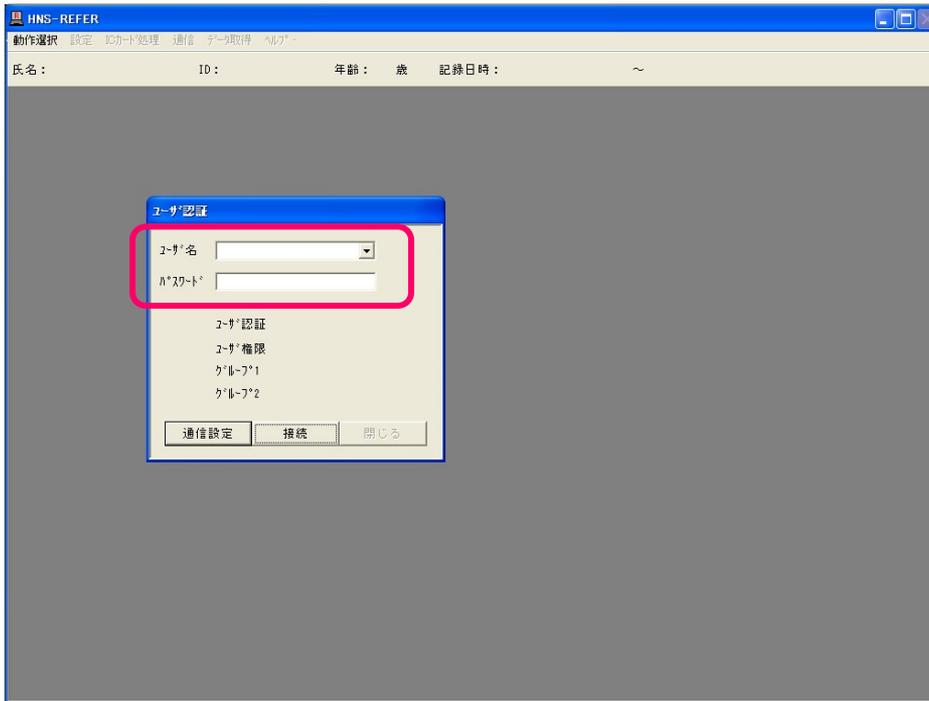


(1) カードリーダーにホルターで記録したカードを差し込みます。
カードを差し込むと左図のようにカード内のファイルが表示されますが、そのまま進みます。



(2) HNS-REFERのアイコンをダブルクリックしてソフトを起動します。

②ソフトを起動し、ユーザー認証を行う



- (1)ユーザー名に「〇〇クリニック」、パスワード「****」を入力して、『接続』ボタンをクリックします。ユーザー認証OKの文字が表示されユーザー認証画面が自動的に消えます。

※PC初回起動時にはVPN通信のユーザー認証画面が表示されます。
⇒次ページ参照

(PC初回起動時のみ) VPNのユーザー認証

Check Point VPN-1 SecuRemote Connection

Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.
We Secure the Internet.

NGX™

Authentication

User name: test

Password: ****

Connection

Location Profile: Fukuda

Destination: 218.123.123.123

Use Dial-up:

Connect Cancel Options

(1)VPN用のユーザー名とパスワード
を入力します。

(2)Connectボタンをクリックします。

VPN-1 SecuRemote Connect Progress

Connection succeeded

OK Details >>

(3)認証に成功すると左図の画面が
表示されます。
OKボタンをクリックします。

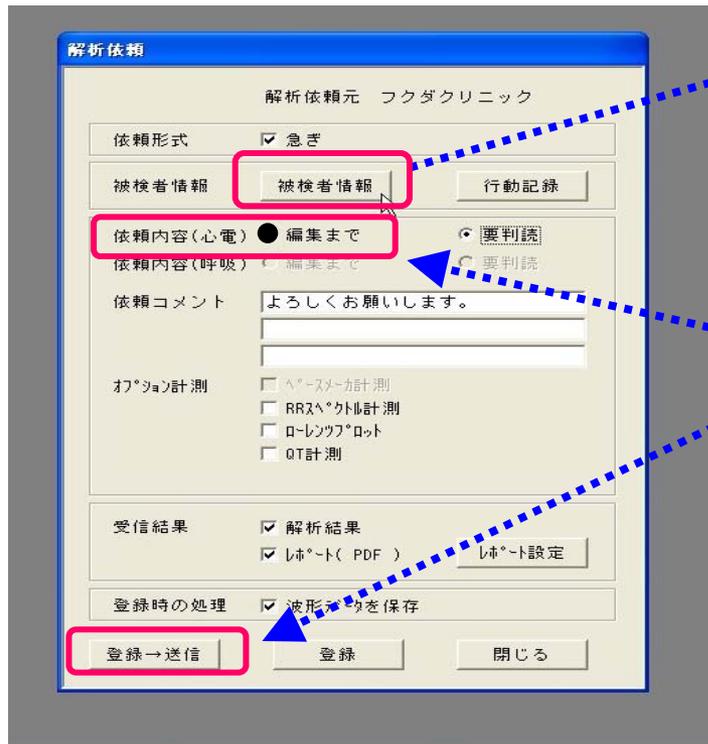
③解析依頼(データ送信)をする。

(1)データ選択画面が表示されますので『解析依頼』をクリックします。



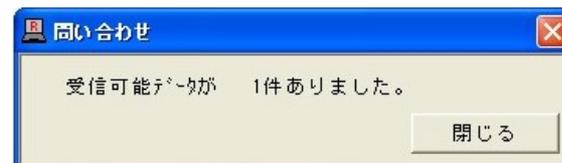
(2)『被検者情報』をクリックしてデータウィンドウ画面を開いて「氏名」「ID」の項目は必ず入力して、『閉じる』をクリックします。

(3)依頼内容(心電)が『編集まで』に●がついていることを確認して『登録→送信』をクリックします。データの読み込み、展開、送信が順次、行われます。



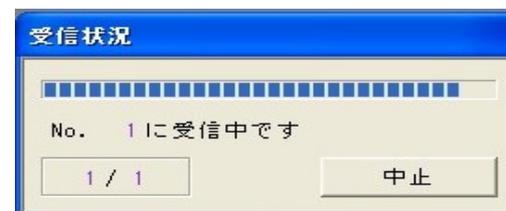
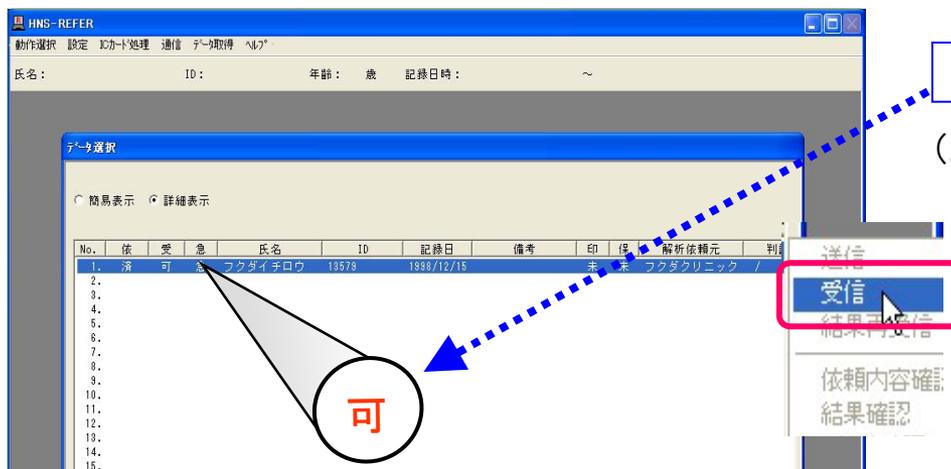
④解析結果を受信する。

- (1) データ選択画面で『問い合わせ』をクリックします。
受信可能なデータがあるか問い合わせ結果が表示されます。



※受信可能なデータは「可」に表示が変わります

- (2) 受信可能なデータを選択し、『受信』をクリックします。
データが受信されます。



- (3) データの受信後は、行いたい動作を選択します。

- ◆結果確認 : 全解析結果を画面上で確認する。
- ◆印刷 : 解析結果を印刷する。
- ◆保存 : データを保存する。

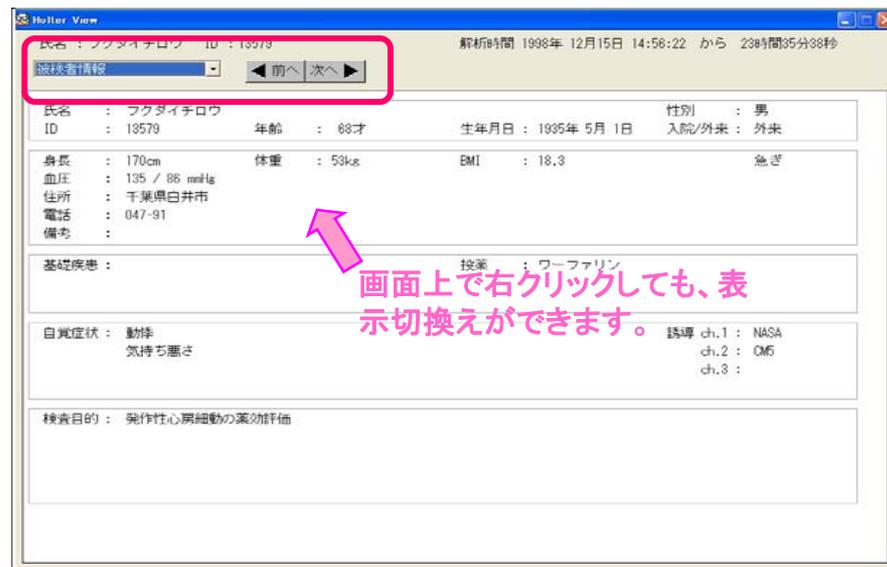
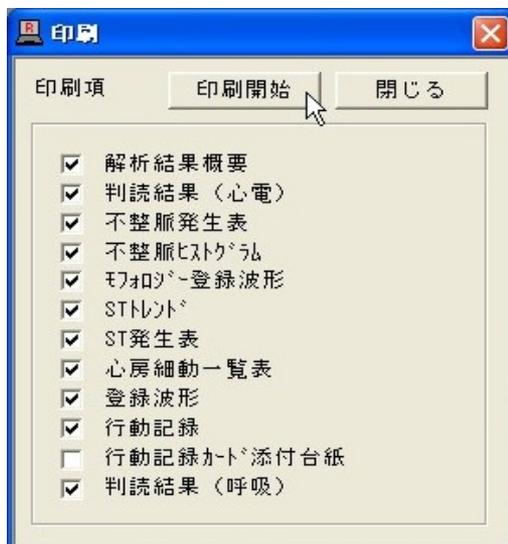


⑤受信データの処理をする。

◆結果確認：全解析結果を画面上で確認できます。

- ・被検者情報
- ・判読結果
- ・数値データ
- ・登録波形
- ・全波形
- ・トレンドグラム
- ・ヒストグラム
- ・モフォロジー
- ・行動記録

◆印刷：解析結果を印刷します。



参考：必要な環境

パソコン (デスクトップ・ノート)



端末ソフト (HNS-REFER)



端末ソフト

パソコン推奨スペック(IBM PC/AT互換機)

- CPU: Pentium4 2.4GHz以上
- メモリ: 1GB以上
- CRT: 解像度1024×768以上, 65535色以上
- OS: Windows Vista, XP
- CD-ROMドライブ, ICカードリーダー, LAN100base-TX

パソコン周辺機器

- 外部記憶装置: DVD-RAMドライブ
- プリンター: レーザープリンター

推奨通信環境

- 光通信 (100Mbps)
- ADSL 8Mbps以上

デジタルホルター記録器

NEW



FM-160



FM-180



FM-800



FM-500



FM-700

参考：通信費

新規に光通信を整備する場合には、おおよそ以下の費用等が必要になります。(NTT東日本)

	OCN 光 With フレッツ	備考
月額利用料	¥6,720	2ヶ月無料、 ホームページからの申し込み 4ヶ月無料

注) 詳細および最新情報(無料キャンペーンなど)はインターネットプロバイダ(OCN, NTT東日本)にお問い合わせください。